



表紙

小林英樹 《巨人（風車）を撃破したと、アルドンサ・ロレンソに大袈裟に語るドン・キホーテ》

1993年

表紙絵の解説

小林英樹

軽いドローイングですから、とくに解説することはないです。

当時の周辺のエピソード：

大阪にいたころ、たしか、帰宅途中に立ち寄った梅田の旭屋で、児童用の易しい英語で書かれたオックスフォードの『DON QUIXOTE』（朱色の表紙）を買って帰り、電車の往復で読みました。少しは英語に馴染んでおかなければと、続いてスティーブンソンの『KIDNAPPED』（紫色の表紙）を買って読みました。わからない単語もありましたが、飛ばしながら楽しく読んだ記憶があります。ぼくは、基本的に、ドンキホーテの生き方は好きだし、内的には同じ要素を持ち合わせていると思います。この絵を描いた頃は銀色（アルミ粉）の周辺に紺や緑、臙脂などの染料がにじみ出る素晴らしいマーカーがありました。一時の流行だったらしく、瞬く間に消えてしまいました。染料の滲み感がお気に入り、良質のスケッチブックに惜しげもなくドローイングしていました。これは、その時の一枚です。ドンキホーテらしく、無我夢中で饒舌に話している姿に見えたので、捨てずにとってありました。